

第156回市民文化講座

竹久夢二と島原

大正ロマンを代表する叙情画家 竹久夢二は数々34名画を残し、今もなお、お年寄りから若い人たちに広く愛され親しまれております。

夢二はまた、全国を旅行し、その風土をとり入れた絵を描き、すぐれた紀行文も書いています。

大正7年には島原地方にもやってきて、当時の風景や精霊流しなどを描き、写真や文章も残しました。

それらをまとめて、今夏、8月1日からお盆過ぎの16日まで島原城内観光復興記念館で作品、資料の展示会が行われます。

そこで、今回の展示会をお世話下さった、大牟田市に在住の研究家、安達先生（島原市出身）に「夢二と島原」について下記のようにお話を伺います。

どうぞ、お練り合わせ、お誘い合ってご出席をご案内いたします。

記

- 1 日 時 平成14年7月23日（火） 午後7時30分～9時
- 2 場 所 霊丘公民館 3階大ホール
- 3 演 題 竹久夢二と島原 ～島原城特別展に寄せて～
- 4 講 師 大牟田市 安達敏昭先生

※先生のお母様は島原市広馬場のご出身で、先生は現在は大牟田市でギャラリーADアートを経営しております。

長らく竹久夢二についてご研究、全国各地にその跡を訪ね、沢山の資料を集めておられます。

- 5 主 催 島原市民文化講座・夢二と島原展実行委員会
島原文化連盟・島原市教育委員会

入場無料・駐車場のサービス券も差し上げます。